

防災通信

— トルコ・シリア地震にみる
直下型地震への備え その1 —

松原第6町会 2023年3月1日

松原第6町会防災アドバイザー 黒澤

トルコとシリアで2月6日午前マグニチュード (M) 7.8、午後 (M) 7.5の地震が発生しました。トルコ周辺は4つのプレートが複雑に入り組み、そのプレート境界にある長大な活断層が大きく動いた直下型地震とみられます。

そして、その被害は、今世紀6番目の規模になっています (2月19日時点)。

	発生年月	呼 称	死者・行方不明者	注
1	2004年12月26日	スマトラ沖大地震	22万7898人	海溝型津波あり
2	2010年1月12日	ハイチ地震	22万2570人	直下型
3	2008年4月27日	ミャンマー・サイクロン	13万8400人	962hpa
4	2008年5月12日	中国四川大地震	8万7500人	直下型
5	2005年10月8日	パキスタン地震	8万7300人	直下型
6	2023年2月6日	トルコ・シリア地震	4万5000人以上	直下型
7	2011年3月11日	東日本大震災	1万8423人	海溝型津波あり

【直下型地震とは】

直下型地震とは、内陸にある活断層で地球のプレートがズレて起こる地震です。阪神・淡路大震災、熊本地震、長野県白馬の神城断層地震などが最近の直下型地震です。活断層とは内陸にある断層で、調査で繰返し動いていたことが確認されているものを指します。正断層・逆断層・横ずれ断層とかいう違いはさておき、断層を境に、地面が縦 (垂直) や横 (水平) 方向にズレる現象です。地上に段差や亀裂が生じたり、建物の倒壊・損壊、震源が浅く近いため「緊急地震速報」が間に合わない、などの特徴があります。

【国指定の主要活断層に糸魚川—静岡構造線断層帯があります】

牛伏寺断層を含んだ糸魚川—静岡構造線断層帯の長野県区間は、2023年1月1日時点で、Sランクの (一番危険度の高い) 8断層の中でも最も切迫度が高い断層に挙がっています。

松原はそれに近い位置にあります。

しかしながら、断層が分かっているからこそ、自宅の安全対策、家族間の連絡手段、身を守る方法、避難の体制・備品の準備等を想定することができます。



阪神・淡路、新潟県中越、岩手・宮城内陸、北海道胆振東部等の地震は主要活断層帯以外です。不意打ち地震でした。日本列島では、どこでどんな規模の地震に遭遇してもおかしくないのです。牛伏寺断層の位置とタイプが、大規模な調査によって判明している点を、「コレ幸い」として、地震の備えを、個人、家族、町会・町会各班、ご近所・お隣さん、で進めていきましょう。

